



# 週間情報



No.2729

発行日 平成27年7月28日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

## 両会の動き

### ◆ 第38回全国消防職員意見発表会及び平成26年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文発表のホームページ掲載について

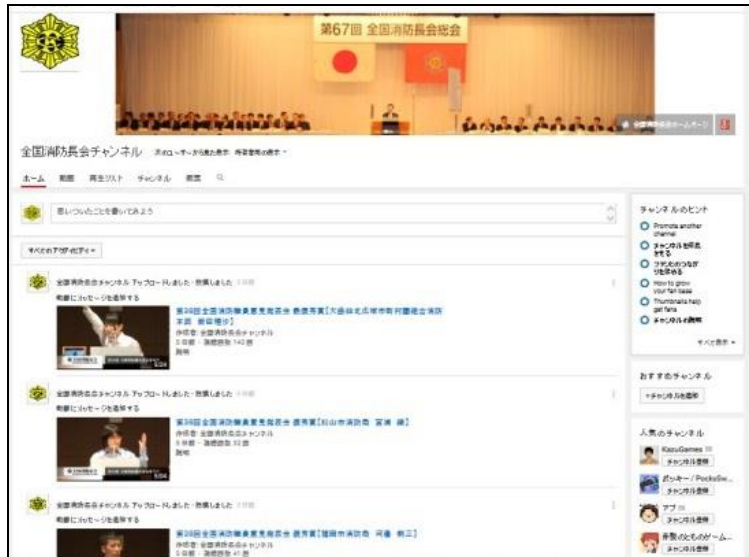
全国消防長会、一般財団法人全国消防協会

平成27年5月23日(土)、総会会場において行われた第38回全国消防職員意見発表会及び平成26年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の発表の様子を全国消防長会ホームページ (<http://www.fcjaj.gr.jp/>)、YouTube 全国消防長会チャンネル

(<https://www.youtube.com/channel/UCPIBhseMhSF6HkXF2zTDTwA>) に掲載しました。なお、動画は外部リンク先へ移行することになりますので、ご注意ください。



【本会ホームページでの掲載状況】



【YouTube 全国消防長会チャンネルでの掲載状況】

### ◆ 「平成27年版 消防現勢」の発行及び消防現勢等調査結果の提供

全国消防長会

全国消防長会では、消防現勢等調査及び消防装備等実態調査の実施について(平成27年4月2日付け全消発第298号)により実施した調査結果を取りまとめ、「平成27年版 消防現勢」を発行いたしました。

各消防本部(局)には、平成27年7月27日(月)付けで発送しましたので、ご活用ください。

また、全国消防長会情報管理システム運用管理規程第6条に基づき、調査結果が、全国消防長会情報管理システムからダウンロードできるようになりましたのでお知らせいたします。

なお、活用の際は全国消防長会情報管理システム運用管理規程及び全国消防長会情報管理システムデータ保護管理規程を順守し、情報漏洩等に留意するとともに適正なデータの管理を実施していただきますようお願いいたします。

(全国消防長会ホームページにおいても消防現勢及び消防装備情報を公開しております。)

◆ 救急車適正利用PRポスターの配付

一般財団法人全国消防協会では、「限りある資源」である救急車を、真に救急搬送を必要としている人が利用できるように、地域住民に対し、広く救急車の正しい利用方法について、理解を求めることを目的に「救急車適正利用PRポスター」を作成しました。

本ポスターの作成については、全国消防長会において『ポスターデザインコンペ』を開催し、5業者より10作品の応募を受け、救急委員会の一次審査で上位2作品を選考し、さらに、救急委員会常任委員会の二次審査で採用デザイン1作品を選出したものです。

各消防本部（局）には、平成27年7月31日（金）に発送しますので、「救急の日」等における広報活動にご活用ください。

なお、本会情報管理システムにも本PRポスターを掲載しますのであわせてご活用ください。



【ポスターのイメージ図】

消防本部の動き

行事

◆ 高校生を対象とした消防団防災ハイスクールを実施

京都市消防局（京都）

京都市消防局では、平成27年度から、消防団と協力し消防団員が地元の高等学校に出向き、消防団の活動体験を中心とした防災教育を行う「消防団防災ハイスクール」を開始しました。

消防団防災ハイスクールを受講することにより、高校生が地域防災を通じた社会貢献や、身近な人の命を守る応急手当に関心を寄せるきっかけになればと考えています。

7月15日現在、市内の5つの高等学校で実施し、約400名の高校生に受講していただきました。今後、たくさんの高校生に受講してもらうことで、消防団を身近に感じていただき、未来の消防団を支える若者を育成していきます。



【消火器取り扱い訓練の様子】



【心肺蘇生法・AED取り扱いの様子】

◆ 第44回全国消防救助技術大会 PRページが完成  
カシオ計算機×神戸市消防局「Gショック」タイアップ商品の発売

神戸市消防局（兵庫）

神戸市消防局では、8月に神戸市で開催される第44回全国消防救助技術大会の専用ページを立ち上げました。

陸上会場の神戸学院大学ポートアイランドキャンパスに設置する仮設訓練施設の状況や水上会場の神戸市立ポートアイランドスポーツセンターなど、会場の様子がわかるように写真をアップしています。

是非、ご覧下さい。

<http://www.city.kobe.lg.jp/safety/fire/event/rescuebuild.html>



また、昨年から公民連携（PPP）の手法を活用した広報に取り組んでいます。

このたび、第44回全国消防救助技術大会の開催をアピールするために、カシオ計算機が誇る腕時計ブランド「G-SHOCK」とのコラボレーション商品の開発に協力しました。

ベースとなるモデルはMASTER OF Gの「RANGEMAN」というシリーズで、救助隊のメインカラーであるオレンジをベースに、文字には神戸市の救助服にあしらわれている刺繍の青色を配色しました。バンドには救助訓練や現場活動で使用するナイロンロープをモチーフとした印刷が入り、尾錠はカラビナをモチーフとしたデザインとなっています。

遊環には、本大会のスローガンである「NEVER FORGET, GO FORWARD」、裏蓋には神戸市消防章を刻印しました。

その他にも、もやい結びとカラビナをモチーフにした絵が浮かび上がるなど、いろいろな仕掛けのある特別モデルの時計ですが、7月1日の神戸市、カシオの共同プレスリリースに合わせて、大会を広報するための動画がインターネットのYouTube「Casio Gshock Official」で公開されましたのでお知らせいたします。

引き続き、紙媒体での大会広報も視野に入れていますので、今後の動きにご注目ください。

<神戸市記者発表資料ページ>

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/press/2015/07/20150701910101.html>

<タイアップモデル紹介（救助大会PR）動画ページ>

<https://www.youtube.com/user/CasioGshockOfficial>



## ◆ 消防フェアを開催

泉州南消防組合泉州南広域消防本部では、平成27年6月28日（日）、管内の岬町深日港で開催された「深日港活性化イベント」にあわせ消防フェアを開催しました。

このフェアは、みんなで火の用心を合言葉に岬町消防団・岬町婦人防火クラブ連合会、そして消防職員が一体となり、はしご車（30m級）の体験乗車等、地域住民が「見て」「触れて」「楽しみながら」各コーナーを体験できるようにしながら実施しました。

なお、当日の消防フェアの参加者は約1,000人でした。

### 泉州南消防組合泉州南広域消防本部（大阪）



【消防フェアの様子】

## ◆ 熱中症予防強化月間出陣式を実施

### 四日市市消防本部（三重）

四日市市消防本部では、予防救急の観点から熱中症予防強化月間の始まる平成27年7月1日（水）、熱中症予防強化月間出陣式を実施し、多くの市民に熱中症予防・対策について啓発を行いました。

今年も既に全国各地で熱中症による救急搬送事案が発生しています。このような状況を受け、熱中症対策の強化について更なる取り組みが必要となっていることからこの出陣式を実施しました。



【熱中症予防強化月間出陣式の様子】

## ◆ 大塚駅周辺の繁華街一斉立入検査を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁豊島消防署では、平成27年7月2日（木）、JR大塚駅周辺の繁華街一斉立入検査を実施しました。

今回の検査は、消防職員・豊島区職員・巣鴨警察署員の合計21名の検査員が、飲食店等が入った商業ビルの階段や廊下、通路等の避難施設の維持管理状況を重点に実施したほか、指定当番の査察員が24時間営業セルフスタンドに対して深夜時間帯に立入検査を実施しました。

セルフスタンドの検査では違反はありませんでしたが、避難施設の検査では、49の対象物のうち、階段、廊下に物を置いていた事案11件を確認しました。

当署では、年2回の夜間立入検査を有効に活用し、今後も都民の皆様が安心して建物を利用できるよう関係者の防火指導にあたり、人命安全の確保に努めていきます。



【繁華街一斉立入検査の様子】

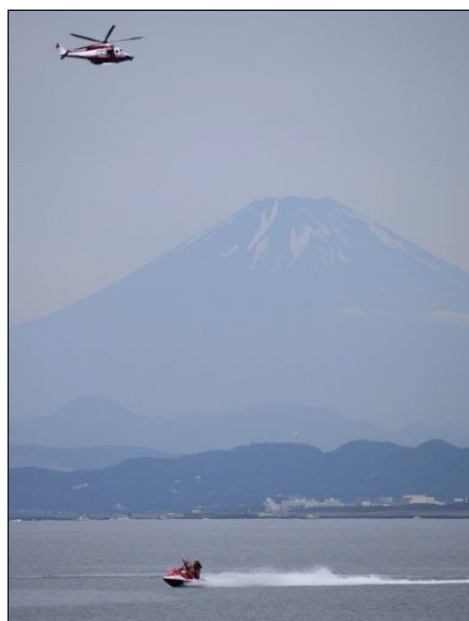
## 訓 練

## ◆ 横浜市消防局航空隊との水難救助合同訓練を実施

藤沢市消防局（神奈川）

藤沢市消防局南消防署では、平成27年6月5日（金）、片瀬海岸西浜海水浴場沖合海上において、横浜市消防局航空隊の協力を得て、当消防署鵜沼水難救助隊との水難救助合同訓練を実施しました。

この合同水難救助訓練は、昨年より運用を開始した「海難事故捜索座標図」を活用して実施したもので、多くの海水浴客が訪れる夏の海水浴シーズンを迎えるにあたり、効率的な捜索活動の連携強化が期待できます。



【水難救助合同訓練の様子】

## ◆ 運転技術向上訓練を実施

### 大垣消防組合消防本部（岐阜）

大垣消防組合消防本部では、平成27年6月15日（月）から17日（水）までの3日間をわたり、管内の自動車学校跡地において、運転技術向上訓練を実施しました。

この訓練では、若年機関員の運転技術向上を目的に、方向変換、坂道発進、狭隘道路走行等の訓練を行いました。消防庁舎敷地内ではできないような訓練を効果的に行うことができ、運転技術の向上につながりました。



【運転技術向上訓練の様子】

## 研 修 等

## ◆ 社会福祉施設に対する実務講習会を実施

### 東京消防庁（東京）

東京消防庁石神井消防署では、平成27年6月19日（金）、社会福祉施設が多数ある管内の特殊性を踏まえ、防火安全対策の向上を図るため、51施設52名の管理権原者を対象に実務講習会を実施しました。

今回の実務講習会では、石井署長からのあいさつをはじめ予防課長による社会福祉施設からの火災通報状況や、施設を取り巻く現況について講義したほか、震度6弱の地震発生直後を想定した図上訓練を実施しました。さらに、当署重点施策として、「高齢者福祉施設等における自衛消防に関する連絡会」設立に向けた説明会をあわせて実施しました。

参加者からは「事業所同士の関係作りや情報交換ができ、自分の施設の防火安全を見直す良い機会でした。」「今後連絡会設立に向け具体的に進めていきたいです。」との意見が多数あり、早速7月中に各部会による検討会を実施する運びとなりました。



【実務講習会の様子】

## ◆ 着衣泳の講習会と水難事故防止番組の制作を実施

はくい  
羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部志賀消防署では、平成27年6月16日（火）、志賀町立堀松小学校6年生を対象として、海水浴シーズンを前に水難事故から身を守る着衣泳の講習会を開催しました。

「U i t e m a t e」を合言葉に、同署の水難救助隊員が、服を着た状態で溺れた時に仰向けで体を大の字に広げ、空きペットボトル等を浮き具にしてその場で救助を待つ方法を指導しました。参加した小学生からは「最初はうまく浮かなかったけど、練習したらすぐに慣れた。毎年、いとこと一緒に海で遊ぶので勉強になった。」との声が聞かれました。

この講習会は水難事故防止番組の収録も兼ねており、水難事故を防止するためのポイントをまとめた内容の番組を制作しました。水難救助の広報番組を制作するのは初めてで、町ケーブルテレビにより7月から放送し、水難事故防止につなげたいと考えています。



【着衣泳の講習会の様子】

## その他

## ◆ 消防協力者(人命救助)に感謝状を贈呈

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、平成27年6月29日（月）、適切な応急手当を行った功績をたたえ、消防協力者に対し感謝状を贈呈しました。

これは5月下旬に発生した事案で、公民館で70代の男性が突然倒れ心肺停止状態となった急病事故において、迅速な判断のもと、早い119番通報と救命講習で身に付けた心肺蘇生法を行うとともに、公民館に設置されたAEDを使用し連携協力して人命救助にあたったものです。

その後、到着した救急隊に引き継がれた男性は一命をとりとめ、社会復帰されました。

勇気ある行動に、心から感謝いたします。



【感謝状贈呈の様子】

## ◆ メールアドレスの変更について

- 21204 柏崎市消防本部（新潟）  
新メールアドレス [shobo@city.kashiwazaki.lg.jp](mailto:shobo@city.kashiwazaki.lg.jp)  
平成27年7月21日から運用開始

## ◆ 消防本部の住所変更等について

- 95019 日置市消防本部（鹿児島）  
新住所 〒899-2502 日置市伊集院町徳重一丁目10番地10（下線部が変更箇所）  
※ 理由 地名変更のため  
平成27年7月25日から運用開始
- 20709 <sup>かつの</sup>鹿角広域行政組合消防本部（秋田）  
新住所 〒018-5201 鹿角市花輪字向畑100番地2（下線部が変更箇所）  
※ 理由 消防庁舎移転のため  
平成27年7月27日から運用開始

### 報道発表

- ◆ 「御嶽山噴火災害を踏まえた山岳救助活動の高度化等検討会」の発足（7月21日、消防庁）  
噴火災害時を含む山岳救助活動の充実を図ることを目的として、「御嶽山噴火災害を踏まえた山岳救助活動の高度化等検討会」を開催し、山岳救助活動を安全かつ効率的に実施するための活動要領について検討を行っていくこととしましたのでお知らせします。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ  
([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270721\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270721_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 消防庁国民保護・防災部参事官付  
担当：新村補佐、石川係長、若田部事務官

- ◆ 平成27年6月の熱中症による救急搬送の状況（7月22日、消防庁）  
平成27年6月の熱中症による全国の救急搬送の状況（確定値）を取りまとめましたので、その概要を公表します。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ  
([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270722\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270722_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 救急企画室  
担当：寺谷、平井、足立

- ◆ 平成26年（1月～12月）における火災の状況（確定値）（7月16日、消防庁）  
前年と比較すると、総出火件数は減少していますが、火災による死者数は増加しています。（以下省略）

- 全文は、消防庁ホームページ  
([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270716\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270716_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】 防災情報室  
担当：明田補佐、塚狭係長



◆ **石油コンビナート等における特定防災施設等及び防災組織等に関する省令の一部を改正する省令（案）等に対する意見募集（7月23日、消防庁）**

消防庁は、石油コンビナート等における特定防災施設等及び防災組織等に関する省令の一部を改正する省令（案）及び特定防災施設等に対する定期点検の実施方法の一部を改正する件（案）の内容について、平成27年7月24日から平成27年8月27日までの間、意見を募集します。  
（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270723\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270723_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】特殊災害室  
担当：宮崎補佐、酒川係長

◆ **「人口減少社会における持続可能な消防体制のあり方に関する検討会」の開催（7月27日、消防庁）**

人口減少社会においても持続可能な消防体制を確保するための施策を検討するため、「人口減少社会における持続可能な消防体制のあり方に関する検討会」を開催することとしましたのでお知らせします。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

([http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270727\\_houdou\\_1.pdf](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h27/07/270727_houdou_1.pdf)) に掲載されています。

【問い合わせ先】消防・救急課  
担当：田中課長補佐、高柳事務官、山田事務官

※ 消防庁各課室の直通電話番号は (<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>) に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

**週間情報への投稿は企画課へ！**

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : [weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)